作成日2016年 2月25日
改訂日　　年　月　日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製　品　名	:	CROWN ELEPHANT UVPP用 ゴールド青口 T
会　社　名	:	東南インキ株式会社
住　所	:	〒592-8341 大阪府堺市西区浜寺船尾町東4丁32-2
担当部門	:	[技術部]
担当者	:	[南埜 純二郎]
		電話番号 072-266-3216　　FAX番号 072-266-3217
推奨用途及び使用上の制限	:	[紫外線硬化型インキ]
整理番号	:	[UVPP0001]

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	:	分類対象外	
健康に対する有害性	:	急性毒性(経口)	区分外
	:	急性毒性(経皮)	分類できない
	:	急性毒性(吸入:気体)	分類対象外
	:	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	:	急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	区分外
	:	皮膚刺激/腐食性	区分外
	:	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	:	呼吸器感作性(固体/液体)	分類できない
	:	呼吸器感作性(気体)	分類できない
	:	皮膚感作性	区分外
	:	生殖細胞変異原性	分類できない
	:	発がん性	区分外
	:	生殖毒性	分類できない
	:	授乳に対する、または授乳を介した影響に関する追加区分	分類できない
	:	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分3
	:	特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1
	:	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	:	水生環境有害性(急性)	区分2
	:	水生環境有害性(慢性)	区分2

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル　:

注意喚起語　:　・危険

危険有害性情報　:　・長期又は反復暴露による臓器(肝臓)の障害
・呼吸器への刺激のおそれ
・長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き　:　取扱い又は使用に際し、安全データシート(SDS)を必ずお読み下さい。
【予防策】
・容器を密閉しておく。

・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
・適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。
・取り扱い後はよく手を洗うこと。

【対　応】
・火災の場合には、適切な消火方法をとること。
・飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。
・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師に連絡すること。
・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次ぎにコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激がつづく場合は医師の診断/手当てを受けること。
・皮膚（又は毛）に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。気分が悪い場合は医師連絡すること。皮膚刺激が生じた場合、医師に診断/手当てを受けること。

【保管】
・直射日光厳禁。紫外線、熱により重合するので、密閉容器に入れ換気の良い冷暗所に保管する。

【廃棄】
・内容物/容器を都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分　：　混合物

成分及び含有量

成分名	含有量%	官報公示整理番号（化審法）	CAS No.
顔料	＜5.0	登録済み	登録済み
感光性樹脂	5.0-15.0	非開示	非開示
感光性モノマー	25.0-35.0	登録済み	登録済み
光重合開始剤	5.0-15.0	登録済み	登録済み
銅	35.0-45.0	対象外	7440-50-8
亜鉛	5.0-15.0	対象外	7440-66-6
アルミニウム	＜0.6	対象外	7429-90-5
高級飽和脂肪酸	＜0.6	登録済み	登録済み
ソルベントナフサ	＜3.0	非開示	非開示

4. 応急処置

吸入した場合　：　新鮮な空気の場所に移動させ、安静・保温に努め必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合　：　多量の水を用いて洗い流し、炎症を生じた時は、必要に応じて医師の診断を受ける。

目に入った場合　：　直ちに清浄な水で15分間以上洗浄した後、必要に応じて眼科医の診断を受ける。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

飲み込んだ場合　：　安静にして直ちに医師の診断を受ける。口をすすぐこと。

予想される急性症状及び遅発性症状　：　吸入により呼吸器への刺激、咳、めまい、咽頭痛、意識喪失。
皮膚に対して刺激、脱脂、発赤。
眼に対して刺激、発赤。
飲み込みにより胃腸の刺激、吐き気、嘔吐、下痢。

5.火災時の処置

消火剤　：　乾燥砂、粉末消化剤、泡消化剤

使ってはならない消火剤　：　棒状注水＝危険

火災時の特定危険有害性　：　火災によって刺激性、毒性、または腐食性のガスを発生するおそれがある。
加熱により重合し、その後発火のおそれがある。
加熱により重合し、爆発するおそれがある。
自然発火なし。

特有の消火方法　：　散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。
大規模火災には、泡消火器を用いて空気を遮断する。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行なう者の保護 ： 消火作業は、風上から行い保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。
特に有毒なガスの吸入を避ける。

6.漏出時の処置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置 ： 作業者には、適切な保護具（8、暴露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、
眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

環境に対する注意事項 ： 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

回収、中和 ： こぼれた場合は液の拡散を防止し流出物をすくい取るか、適当な吸収剤を使用して
密閉できる空容器に回収する。（吸収剤；おがくず、土、砂、ウエス等）

封じ込め及び 浄化方法と機材 ： 危険でなければ漏れを止める。
漏出物を取り扱う時に用いる全ての設備は接地する。

二次災害の防止策 ： 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

： 火気に注意し、作業場は換気を十分に行う。
取り扱いには適切な保護具を着用する。
作業衣等に付着した場合はその汚れを落とし、取り扱い後は手洗いとうがいを
十分行う。
この製品を拭き取ったウエス等は、速やかに焼却又は廃棄する。

接触回避 ： 『10. 安定性及び反応性』を参照

保管

適切な保管条件 ： 容器は密栓して換気良好な冷暗所に貯蔵する。
指定数量以上の場合は火災予防条例に従う。

混触危険物質 ： 『10. 安定性及び反応性』を参照。

容器包装材料 ： 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

組成物質の管理濃度 及び許容濃度 ：

物質名	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH
銅（銅粉末として）	設定なし	設定なし	1mg/m3
ソルベントナフサ（鉱油ミストとして）	設定なし	3mg/m3	5mg/m3

設備対策 ： 屋内作業時は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。
取り扱い場所の近くに手洗い設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具 ： 防塵マスク

手の保護具 ： 耐油性保護手袋

目の保護具 ： 側板付保護眼鏡（必要によりゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具 ： 保護長靴、保護作業服

適切な衛生対策 ： マスク等の吸着剤の交換は定期または使用の都度行なう。

9.物理的及び化学的性質

外観 ： 高粘性液体（金色）・わずかな臭い

融点/凝固点 ： データなし

沸点 ： 混合物としてのデータなし。 296℃～321℃（ソルベントナフサの値）

引火点 ： 測定不能の為、混合物としてのデータなし （参考値：ソルベントナフサ140℃以上）

発火点 ： 混合物としてのデータなし （参考値：ソルベントナフサ200℃～410℃）

爆発範囲 ： 混合物としてのデータなし （ソルベントナフサ 上限：7容量%、下限1容量%（推定値）

蒸気圧 ： データなし

蒸気密度（空気＝1） ： データなし
比重（密度） ： 1.7（25℃）
溶解度 ： 有機溶剤に溶解、水に不溶
オクタノール/水分配係数 ： データなし
分解温度 ： データなし

10.安定性及び反応性

安定性 ： 常温・常圧で安定。
紫外線・加熱により重合する。
高温になると発火・ガス発生のおそれあり。

避けるべき条件 ： 加熱。

11.有害性情報

成分の健康有害性情報

成分名	含有量%	急性毒性			
		経口毒性	(mg/kg)	経皮毒性	(mg/kg)
銅	35.0-45.0	分類できない		分類できない	
亜鉛	5.0-15.0	区分外	＞2.000	分類できない	
アルミニウム	＜0.6	分類できない		分類できない	

成分名	含有量%	急性毒性			
		吸入：気体	(ppmv)	吸入：蒸気	(ppm)
銅	35.0-45.0	分類対象外		分類できない	
亜鉛	5.0-15.0	分類対象外		分類できない	
アルミニウム	＜0.6	分類対象外		分類できない	

成分名	含有量%	急性毒性		皮膚腐食性/刺激性
		吸入：粉塵等	(ppm)	区分
銅	35.0-45.0	分類できない		分類できない
亜鉛	5.0-15.0	区分外		区分外
アルミニウム	＜0.6	分類できない		分類できない

成分名	含有量%	眼に対する重篤な損傷性	呼吸器感作性・皮膚感作性
			呼吸器感作性物質
銅	35.0-45.0	分類できない	分類できない
亜鉛	5.0-15.0	区分2B	分類できない
アルミニウム	＜0.6	分類できない	分類できない

成分名	含有量%	呼吸器感作性・皮膚感作性	生殖細胞変異原性
		皮膚感作性物質	
銅	35.0-45.0	分類できない	分類できない
亜鉛	5.0-15.0	区分外	分類できない
アルミニウム	＜0.6	分類できない	分類できない

成分名	含有量%	発がん性	生殖毒性
銅	35.0-45.0	区分外	分類できない
亜鉛	5.0-15.0	分類できない	分類できない
アルミニウム	＜0.6	分類できない	分類できない

成分名	含有量%	特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）
銅	35.0-45.0	区分3
亜鉛	5.0-15.0	分類できない

アルミニウム	＜0.6	分類できない

成分名	含有量%	特定標的臓器/全身毒性 （反復暴露）
銅	35.0-45.0	区分1（肝臓）
亜鉛	5.0-15.0	分類できない
アルミニウム	＜0.6	区分1（肺）

成分名	含有量%	吸引性呼吸器 有害性	水生環境 有害性（急性）	水生環境 有害性（慢性）
銅	35.0-45.0	分類できない	分類できない	区分4
亜鉛	5.0-15.0	分類できない	区分1	区分1
アルミニウム	＜0.6	分類できない	分類できない	区分4

12.環境影響情報

情報なし

13.廃棄上の注意

内容物、容器を廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
容器、機械装置等を洗浄した廃液等を地面や排水溝へそのまま流さないこと。
廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行なうか、委託する。

14.輸送上の注意

国際規制

国連番号 : 3082
国連輸送名 : 環境有害物質（液体）
国連分類 : 9
容器等級 : Ⅲ

国内規制

国連番号 : 3082
指針番号 : 171
陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。
注意事項 : 7、取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。
運搬に際して、容器・包装に漏れの無いことを確かめ、転倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行なう。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 通知対象物質　57条の2　銅
PRTR法 : 該当しない
消防法　火災予防条例 : 可燃性液体類
毒物及び劇物取締り法 : 該当しない

16. 記載内容の変更等

: ・記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成されている。
・法令の改正や新しい知見、情報により、記載内容が予告なしに改訂されることがある。
・取り扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実際に即した安全対策を講じる。

17. その他の情報

参考文献

- ACGIH（2006年）
- 国際化学物質安全性カード（ICSC）
- 神奈川県環境研究データーベースhttp://www.k-erc.pref.kanagawa.jp
- 独立行政法人　製品評価技術基盤機構　GHS分類結果データベース
- 中央労働災害防止協会：GHS対応による混合物（化学物質）のMSDS作成手法の研修テキスト
- 日本産業衛生学会（2006－2007年）http://joh.med.uoeh-u.ac.jp/oel/index.html
- ICSC　CARD　http//www.nihs.go.jp/ICSC/

- 製品安全データシート作成資料　改訂3版JIS　Z7250：2005対応（印刷インキ工業連合会）
- 米国連邦規則集（OSHA）
- ケミカルズデータベース（日本ケミカルデータベース）
- 法規制物質リスト（日本ケミカルデータベース）
- GHS分類結果データベース（製品評価技術基盤機構　NITE）

本データシートは、一般的な工業的用途について、〔製品の適切な取り扱い〕を確保するための参考情報として提供するもので、製造者の保証書ではありません。現時点で信頼し得ると考えられる資料並びに測定等に基づき作成したものであります。ご需要家各位は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じた適切な措置をお取りくださるようお願い致します。